

アジアサイエンスキャンプ 2022

参加者の募集について

■概要

国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）は、2022 年 7 月 24 日から 7 月 30 日に韓国で開催される第 14 回アジアサイエンスキャンプ（ASC2022）に参加する物理、化学、生物学、数学分野の科学に興味を持つ、高等学校、中等教育学校、高等専門学校、大学、大学校の生徒または学生（高校 2 年－大学 2 年相当）を募集します。

■アジアサイエンスキャンプとは

アジアサイエンスキャンプ(ASC)は、ノーベル賞学者や世界のトップレベルの研究者による講演、講演者がリードするディスカッションセッションなどにより、アジアからの参加生徒・学生が直接科学の面白さを体験し、また生徒・学生同士の交流を深める場です。2005 年のリンダウ会議の際、小柴昌俊博士（2002 年ノーベル物理学賞受賞者）と Yuan T. Lee 博士（1986 年ノーベル化学賞受賞者）の間に、アジアの若者のためにトップレベルの学者と若い生徒・学生の交流プログラムを始めたいと発案されました。これまで、台湾・台北（2007 年）、インドネシア・バリ（2008 年）、日本・つくば（2009 年）、インド・ムンバイ（2010 年）、韓国・テジョン（2011 年）、イスラエル・エルサレム（2012 年）、日本・つくば（2013 年）、シンガポール（2014 年）、タイ・パトゥムターニー（2015 年）、インド・バンガロール（2016 年）、マレーシア・カンパー（2017 年）、インドネシア・マナド（2018 年）、中国・汕頭（2019 年）で開催されています。

■アジアサイエンスキャンプ 2022 (Asian Science Camp 2022)

第 14 回の ASC は 2022 年 7 月 24 日から 7 月 30 日まで韓国・テジョン市で開催されます。新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大の影響により、実地とオンライン会議プラットフォーム（YouTube、Zoom 等）を組み合わせた方式による開催が検討されており、**日本ではオンライン会議プラットフォームを利用して国内から ASC2022 に参加する予定です。**

プログラムはすべて他国の生徒・学生とともに英語で学びます。JST は日本からの参加の事務局として、ASC2022 への日本からの参加者の募集と選抜、韓国の組織委員会への参加登録を行います。世界のトップレベルの科学者から講義を受けて、質疑応答など対話することができるチャンスです。参加を希望される方は、下記の募集要項にしたがって奮ってご応募ください。

アジアサイエンスキャンプ 2022 参加者募集要項

ASC2022 の参加希望者を、次の通り募集します。

※本募集は令和 4 年度政府予算の成立を前提としています。また予算の成立状況の他、国際的政治環境の変化又は開催国の事情等により、実施スケジュールや内容の変更・日本からの参加中止が生じる場合があることを予めご了承ください。

実施期間 2022 年 7 月 24 日（日）～7 月 30 日（土）（予定）

※実施スケジュール、開催形態、実施内容の変更等の影響により、実施期間が変更される可能性があります。

※ ASC2022 では、日本はオンライン会議プラットフォーム（YouTube、Zoom 等）を利用して国内から参加する予定であり、自宅等から各自のパソコン等を利用して参加する形態となります。

募集人員数 20 名

応募資格 次の「応募条件」および「参加条件」について、すべてを満たすこと。

[参加条件]

- (1) ASC2022 開始時点で、日本国内における次の学校・学年に在籍し、かつ年齢が 16 歳から 21 歳である者
i. 高等学校（2～3 年生）、ii. 中等教育学校（後期課程 5 年生以上）、iii. 高等専門学校（2～5 年生）、iv. 大学または大学院（2 年生以下）
- (2) 自然科学（物理、化学、生物学）または数学に高い意欲と秀でた能力を有し、英語による議論、講演など全日程に参加できる者。
- (3) 日本からの参加者の一員として相応しい行動が取れる者。

※なお、ASC のプログラムはすべて英語で行われるため、CEFR（注）で B1 ランク（英検 2 級程度）以上の英語力を持つことが推奨されます。

注）CEFR：Common European Framework of Reference for Languages の略称。語学のコミュニケーション能力別のレベルを示す国際標準規格として、欧米で幅広く導入されつつある

[応募条件]

- ①未成年者は、ASC2022 への参加に関して保護者の同意が得られており、参加が決定した際に、本人および保護者より参加に関する同意書の提出が可能であること。18 歳以上の応募者は、参加が決定した際に、参加に関する同意書を本人より提出できること。
- ②実施期間中、常時、YouTube、Zoom を利用可能なインターネット環境およびパソコン（デスクトップパソコン、ノートパソコン 等）を準備することが可能であること。

※YouTube および Zoom のシステム要件は以下の URL を参照してください。

YouTube：<https://support.google.com/youtube/answer/78358?hl=ja>

Zoom：[https://support.zoom.us/hc/ja/articles/201362023-Zoom-](https://support.zoom.us/hc/ja/articles/201362023-Zoom-%E3%81%AE%E3%82%B7%E3%82%B9%E3%83%86%E3%83%A0%E8%A6%81%E4%BB%B6-Windows-macOS-Linux)

[%E3%81%AE%E3%82%B7%E3%82%B9%E3%83%86%E3%83%A0%E8%A6%81%E4%BB%B6-Windows-macOS-Linux](https://support.zoom.us/hc/ja/articles/201362023-Zoom-%E3%81%AE%E3%82%B7%E3%82%B9%E3%83%86%E3%83%A0%E8%A6%81%E4%BB%B6-Windows-macOS-Linux)

提出書類

※ 提出書類は、原則パソコン等を利用して作成して下さい。難しい場合は、応募書類の請求時にアジアサイエンスキャンプ参加事務局までご相談下さい。

(1) 【必須】アジアサイエンスキャンプ 2022 参加申込書

応募手順 (p6) の手続きに従い、アジアサイエンスキャンプ事務局まで請求して下さい。事務局より参加申込書 (電子ファイル) をお送りします。

(2) 【必須】成績証明書

※ 現在所属する学校の成績証明書または通知簿の写し。

(大学 1 年生の場合は、前所属の学校卒業時のもの)

※ 日本語または英語で記載しているもの。

※ 評価基準が 5 や 10 段階評価等以外で不明確な場合は、評価基準を簡単に付箋等に明記し、ご提出ください。

(3) 【必須】推薦書 (A4 用紙 2 ページ以内、様式自由、日本語または英語で記載)

① 担任・指導教員等 (英語の能力や科学に対する興味・意欲について)

- 現在所属する学校または高校時代の担任、あるいは指導教員による推薦書。
- 推薦書には、1) 英語の能力 (読み書き、英会話及び総合評価)、2) 科学に対する興味、3) ASC プログラムに参加する意欲、の三つの観点から記載してもらってください。

② 学外活動の指導者・関係者 (学外活動における積極性や活動実績について)

- 現在または高校時代の学外活動 (ボランティア活動、地域活動、科学コンテスト出場等。生徒会活動・部活動等の活動も含む) の指導者・関係者 (活動の先輩、OB・OG 等でも構いません) による推薦書。
- 推薦書には、1) 活動における積極性・協調性、2) 取組の実績、3) ASC プログラムに参加する意欲、の三つの観点から記述してもらってください。

※ 家族による推薦、自己推薦は不可。

※ ②学外活動の指導者等が、①の担任・指導教員等と同一の場合は、お手数ですが①②の別個に推薦書を得て下さい。ただし、応募書類としての推薦書は、指導者からの評価と共に、応募者が、多方面と信頼関係を構築できていることを確認するため求めています。可能な限り、別個の関係者より取得して下さい。

※ 課題活動に参加されていない場合、推薦書は①のみご提出ください。

(4) 【必須】英語関連の証明書

英検、TOEIC、TOEFL、IEKTS、BULATS 等の証明書の写しを添付。

※ 本募集への応募は、CEFR で B1 ランク (英検 2 級程度) 以上の英語力を持つことが推奨されます。

※ 各資格・検定試験と CEFR の対応は、各資格・検定試験の実施団体がホームページ等で公開しています。不明な場合はアジアサイエンスキャンプ事務局までお問い合わせください。

提出課題

※ 提出課題は、原則パソコン等を利用して作成して下さい。難しい場合は、応募書類の請求時にアジアサイエンスキャンプ参加事務局までご相談下さい。

(A) 過去の講義動画の視聴による課題

応募者は、これまでに ASC で行われた講義（以下、「ASC 講義」といいます）から、下記のいずれか一つの講義動画を全編視聴し、課題①および課題②を提出して下さい。

【講義動画】

(1)	(ASC2012) Prof. Kobayashi Makoto (2008 年ノーベル物理学賞) 「Development of Particle Physics」
(2)	(ASC2017) Prof. Howard (Haim) Sider 「The footnotes of life」
(3)	(ASC2012) Prof. Aaron Ciechanover (2004 年ノーベル化学賞) 「The Personalized Medicine Revolution」
(4)	(ASC2016) Prof. Cédric Villani (2010 年フィールズ賞) 「Lecture on Of Particles, Stars and Eternity」

※ 動画はインターネットで公開されています。課題の対象となる動画の URL は、応募手順 (p6) の手続きに従い、事務局に応募資料の請求を頂いた方に、折り返しご連絡します。

※ 視聴する動画は、自由に選択してください。(分野毎の定員などはありません。また、ご自分の興味やバックグラウンドに関わらず、英語の聞きやすさや課題のまとめやすさで選んで構いません。)

課題	規定・文字数
<u>課題①（日本語）「視聴した ASC 講義の要旨」</u> ● 視聴した ASC 講義動画の指定箇所（10 分程度）について、内容を日本語で要約して下さい。指定箇所は、資料請求後の応募書類のご案内の際、お伝えします。 ● 要約にあたり、応募者の意見・感想は含めないで下さい	【用紙サイズ】 A4 サイズ（縦） 【フォント】 MS ゴシック 11pt 【行間】 1. 5 行 【文字数】 <u>本文 700 字以上 850 字以内（厳守）</u> ※冒頭に課題番号・表題・氏名を記載（文字数には算入しません）
<u>課題②（英語）「講師への質問とその理由」</u> ● 講義後のディスカッションを想定し、聞いてみたい質問一つ英文で記載して下さい。またその質問をしたいと考えた理由を英文で記載して下さい。 ● 対象とする ASC 講義は、課題①で選択した動画と同一のものとしますが、質問は、全編を通した視聴に基づくものとして下さい。	【用紙サイズ】 A4 サイズ（縦） 【フォント】 MS ゴシック 11pt 【行間】 1. 5 行 【文字数】 質問及び理由をあわせ 200 語程度。 ※冒頭に課題番号・表題・氏名を記載 ※質問と理由の間は、空行を入れて下さい

(B) 作文課題

課題	規定・文字数
<u>課題③（英語）「これまでの科学の取組み」</u> ● これまで自分自身の興味から行った科学分野（物理、化学、生物学、数学）の取組みを紹介し、取組みを通して得た、人に伝えたい面白さを英文で記述してください。	【用紙サイズ】 A4 サイズ（縦） 【フォント】 MS ゴシック 11pt 【行間】 1.5 行 【文字数】 400 語程度 ※冒頭に課題番号・表題・氏名を記載
<u>課題④（日本語）「将来の取組み」</u> ● 2015 年 9 月の国連サミットで持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals: SDGs）が採択され、日本においても様々な活動がなされ、現在広く認知されています。 ● 一方で、大規模な自然災害や感染症の世界的流行をはじめとした、新たな世界的課題が現れることに伴い、現在社会を取り巻く環境も大きく変化しています。 ● 応募者は、上記を踏まえ、下記の URL を参考とし、SDGs17 目標の中から、達成に興味のある目標または将来希望する進路に関係が深い目標を一つ選んで下さい。 ● そして、選んだ目標について、解決に向け取り組みたい研究テーマ・新技術・活動等とその理由を自分のこれまでの体験等を交えて記述して下さい。	【用紙サイズ】 A4 サイズ（縦） 【フォント】 MS ゴシック 11pt 【行間】 1.5 行 【文字数】 850 文字程度 ※冒頭に、課題番号・表題・氏名、および選択した SDGs 目標を記載。

※ 持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals: SDGs）は、2015 年 9 月の国連サミットで採択され、国連が 2030 年までの達成を掲げる 17 の目標です。SDGs は発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサルな目標として、日本も積極的に取り組んでいます。また、SDGs の達成において、科学技術イノベーションは、持続可能性に関する諸課題の解決や、より良い政策決定に資する科学的根拠を提供することに、強い期待が寄せられています。

（参考 URL） <https://www.jst.go.jp/sdgs/index.html>

応募手順

(1) 書類請求

- ①応募者は、ダウンロードした「アジアサイエンスキャンプ 2022 応募書類・請求フォーム」に必要な事項を入力し、参加事務局（intlcamp@jst.go.jp）まで電子メールに添付してお送りください。
- ②折り返し、参加事務局より応募書類（提出書類および提出課題）に関する案内を返信します。請求後、2 営業日以上たっても返信が届かない場合、参加事務局までお問い合わせください。

※応募書類は、書類請求を送信頂いたメールアドレスに返信します。

ご利用のスマートフォンや携帯電話で、迷惑メール対策のため特定ドメイン以外のメールや PC からのメールを拒否するような設定をされている方は、参加事務局からの返信メールが受信できるよう、自己責任でご対応下さい。

(2) 応募書類の提出

送付された案内に基づき、下記の応募締切までに、応募書類（提出書類および提出課題）を、以下の【郵送先】まで郵送して下さい。

※ 応募書類の提出は、原則として日本国内からの郵送（普通郵便、レターパック、書留等）に限ります。（ゆうメールでは、信書は送付できませんのでご注意ください。）

【郵送先】

〒332-0012 埼玉県川口市本町 4-1-8 川口センタービル 14F

国立研究開発法人科学技術振興機構 理数学習推進部（才能育成グループ）

アジアサイエンスキャンプ参加事務局

応募受付期間

【応募用紙の請求受付期間】

2022 年 4 月 13 日（水）～ 5 月 6 日（金）正午まで

【応募締切】

2022 年 5 月 13 日（金） 当日消印有効

※ 締切後の応募書類は受理できませんので返送いたします。余裕をもって送付してください。

選考

- ・ 応募書類を厳正に審査し、参加者を決定します。選考結果は、6 月上旬に書面通知の予定です。
- ・ 選考過程で事務局より問い合わせをする場合がありますので、応募書類には必ず連絡が付く電話番号と、応募者本人が使用するメールアドレス（携帯のメールアドレスは不可）を記載してください。

電話および電子メールにより本人と連絡がつかない場合、参加決定が取り消される場合があります。（PC のメールアドレスを持っていない場合、Gmail や Yahoo メールを無料で取得することができます。）

参加費用

無料

※ただし、機材の準備費用、通信料及び光熱費等のオンライン参加に伴い発生する費用に関しては、参加者にご負担いただきます。

個人情報の取扱について

ご提供いただいた個人情報は、国立研究開発法人科学技術振興機構（以下「JST という」）における「個人情報保護規則」に基づき、次のように取り扱います。ご応募される方は、以下に記載された内容について同意された上、ご応募くださいますようお願い致します。

- ・ JST に提供された個人情報は、JST が適正に管理の上、以下の目的で利用します。
 - ✓ ASC2022 の選考、運営に関連する各種のご案内
 - ✓ 今後の事業運営のための申込者の実数・分布等の分析
 - ✓ 成果把握、事業改善のためのアンケートの実施
- ・ 個人情報の提供は任意ではありますが、必要な情報が提供されない場合は事業の実施・参加に支障が生じる可能性がありますので、ご了承ください。
- ・ 提供された個人情報に関して、提供者本人（本人が未成年の場合は保護者を含む）から開示請求があった場合、また、開示の結果、訂正、削除等の請求があった場合は、速やかに対応します。
- ・ 応募書類の返却はいたしません。アジアサイエンスキャンプが終了して一定期間経過後、廃棄いたします。
- ・ ASC の参加者における、その後のキャリアパスの調査を目的に、一定期間後に進路調査アンケートを実施することがあります。

その他

- ・ ASC のプログラム参加中は、開催国事務局ならびに JST の指示に従い行動してください。
- ・ 参加終了後、報告書の作成にご協力いただきます。

参考情報

※ これまでに開催されたプログラムや講義風景などがご覧になれます

☆ アジアサイエンスキャンプ 2013（日本）ホームページ

<https://www.jst.go.jp/cpse/risushien/asc/asc2013/about/index.html>

☆ アジアサイエンスキャンプ 2017（マレーシア）ホームページ

<https://www.asc2017.net>

問い合わせ先

国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）理数学習推進部（才能育成グループ）
アジアサイエンスキャンプ参加事務局

電話：048-226-5665 FAX：048-226-5684 Email：intlcamp@jst.go.jp